

教科目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識及び技能	② 思考・判断・表現力等	③ 主体的に学習に取り組む態度
- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と、それらに係る技能 - 技術と生活や社会、環境との関わりについての理解	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4 5	生活や社会における技術の役割 情報とコンピュータ【1】 情報の表現と伝達【2】 情報セキュリティと情報モラル【3】	③人びとの「願い」を実現するための技術を見つけ、その役割を考えている。 技術の見方・考え方を知り、関心を持っている。技術の向上により生活や産業に及ぼす影響を考えている。 ①情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。 処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ②身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	定期考査 保存状況 ワークシート
6 7 9 10 11 12	生活や社会と材料と加工の技術【1】 材料を利用するための技術【6】 問題解決の手順【6】 製作のための技能【1 2】	②生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ①木材や金属などの材料と使用方法を説明できる。木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 じょうぶな構造や形状・組み合わせについて科学的な原理・法則を説明できる。 図面を読んだり、書いたりすることができる。 ①製作品の構想図をかき、製作品の製作に必要な図面や表をかきあらわすことができる。 ②製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について、気付くことができる。 課題の解決策となる製作品の大きさ・形状・構造など、使用場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。	製作作業 ワークシート 保存状況

1 2		①安全・適切に材料取り、材料取り・切断・部品加工を行うことができる。 安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。 ②適切に組立てができるよう手順を考えて組立てを行うことができる。 完成した製作品が設定した課題解決できるかを評価するとともに、設けられた製作の過程に対する改善及び修正を考えることができる。 ③自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	定期考査 授業観察 ワークシート
3	これからの材料と加工の技術 【1】	①これまでの学習と、材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。 ②よりよい生活の実現を目指して、材料と加工の技術を評価し、適切な選択・管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。 ③よりよい生活の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。	

定期テスト範囲（予定）

1 学期中間テスト	1 学期期末テスト	2 学期中間テスト	2 学期期末テスト	学年末テスト
	・情報と技術 ・材料と加工の技術		・材料と加工の技術	・材料と加工の技術

学習上のアドバイス

授業について

- ①プリントを忘れない。問題解決のポイントが記述されています。しっかり確認をして授業・作業を進めましょう。
- ②1時間中に作業を終わらせるようにする。次の授業に回さない。
- ③メモをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。

家庭学習のアドバイス

- ①授業時数が少ない教科です。その日に作業した内容に目を通しましょう。
- ②欠席した場合、配布されたプリントがあったのが確認しましょう。プリントをもらい、その授業に行ったことを友人に聞いてメモや色を付けましょう。

令和5年度 第2学年 技術家庭科 技術分野 シラバス

教科目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識及び技能	② 思考・判断・表現力等	③ 主体的に学習に取り組む態度
- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と、それらに係る技能 - 技術と生活や社会、環境との関わりについての理解	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名		単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	材料と加工 情報とコンピュータ【4】		製品を完成させる ①情報のシステム化や処理の自動化に関わる基礎的な仕組み、を説明できる。 情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。	製品の完成度 定期考査 保存状況 ワークシート
5			②身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスを知り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	
6			情報の表現と伝達【2】 ①情報通信についての科学的な原理・法則と情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明できる。 情報ネットワーク上で情報を利用する仕組みを説明できる。	
7	情報セキュリティと情報モラル【3】		①情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。 知的財産を保護する必要性と利用方法を説明できる。 情報モラルの必要性と情報を発信する時の注意点について説明できる。	
9	情報の表現と伝達 【6】	さまざまな生物育成の 技術【4】 生物育成の技術による 問題解決【4】	～情報と技術～ ①情報の表現、計算について、情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明でき、操作できる。 ③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 情報社会において適正に活動しようとしている。	
10			～生物育成の技術～ ①生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。 ②生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。 ③進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	
11				

12		これからの生物育成の技術【1】	①育成計画に沿い、観察や検査の結果を踏まえ、安全・適切に育成環境の調節や、作物の管理・収穫ができる。 ②条件を踏まえて課題の解決策を構想し、育成計画表等に表すことができる。 ③自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ①これまでの学習を踏まえ、生物育成の技術の役割や影響、最適化について説明できる。 ②よりよい地域社会の構築を目指して、適切な選択、管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。 ③生物育成の技術を進んで工夫し創造しようとしている。	～生物育成の技術～ 観察作業・観察日誌 ワークシート レポート
1 2 3	生活や社会とエネルギー変換の技術 エネルギー資源の利用【4】		①自然界にあるエネルギー源から電気エネルギーへの変換方法と安定した電力供給の仕組みを説明できる。 電源の種類とそれぞれの特徴を、電気の特性等の原理・法則に基づき説明することができる。 電気機器の定格に基づき、安全に利用するための仕組みを説明することができる。 ②防災用品のエネルギー変換の技術に関する工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。	定期考查 授業観察 ワークシート 製作、点検
	エネルギー変換の技術による問題解決【6】		①安全で適切な製作、実装、点検及び調整ができる。 ②設計や製作の過程に対する改善を考えることができる。 ③進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	
	これからのエネルギー変換の技術【1】		①エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会を説明することができる。 ②持続可能な社会を実現するために、適切な管理・運用の仕方や改良の方向性について考えることができる。 ③持続可能な社会の実現に向けて、今あるエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギーを創造しようとしている。	

定期テスト範囲（予定）

1学期中間テスト	1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
	・情報と技術 ・各ソフトウェア操作		・情報と技術 ・生物の育成 ・（エネルギー変換）	・エネルギー変換 ・（情報と技術）

学習上のアドバイス

授業について

- ①プリントを忘れない。問題解決のポイントが記述されています。しっかり確認をして授業・作業を進めましょう。
- ②1時間中に作業を終わらせるようにする。次の授業に回さない。
- ③メモをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。

家庭学習のアドバイス

- ①授業時数が少ない教科です。その日に作業した内容に目を通しましょう。
- ②欠席した場合、配布されたプリントがあったのか確認しましょう。プリントをもらい、その授業に行ったことを友人に聞いてメモや色を付けましょう。

令和5年度 第3学年 技術家庭科 技術分野 シラバス

教科目標

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識及び技能	② 思考・判断・表現力等	③ 主体的に学習に取り組む態度
- 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と、それらに係る技能 - 技術と生活や社会、環境との関わりについての理解	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	情報とコンピュータ【1】	①情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。	定期考査 保存状況 ワークシート
5	情報の表現と伝達【2】	処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。	
6	情報セキュリティと情報モラル【3】	処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	
7		②身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。	
9	情報セキュリティと情報モラル【1】	③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	製作作業 ワークシート 保存状況
10		①情報セキュリティに関わる基礎的な仕組みを説明できる。 情報モラルの必要性和情報を発信する時の注意点について説明できる。	
11	双方向性のあるコンテンツによる問題解決【5】	③進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 情報社会において適正に活動しようとしている。	
12		①双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	
		②双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。 問題解決とその過程を振り返り、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。 問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	

1	計測・制御による問題解決【3】	①計測・制御の仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	定期考査 授業観察 ワークシート
2		②計測・制御に関わる問題を見だし、課題を設定できる。 制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。	
3		③自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。	
	これからの情報の技術【1】	①生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明できる。 ②よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、未来に向けた新たな改良、応用について提言できる。 ③よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。	

定期テスト範囲（予定）

1学期中間テスト	1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
	・情報とコンピュータ ・プログラミング		・プログラミング ・双方向性のあるプログラム ・製作工程	

学習上のアドバイス

授業について ①プリントを忘れない。問題解決のポイントが記述されています。しっかり確認をして授業・作業を進めましょう。 ②1時間中に作業を終わらせるようにする。次の授業に回さない。 ③メモをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。 家庭学習のアドバイス ①2週間に1度の教科です。その日に作業した内容に目を通しましょう。 ②欠席した場合、配布されたプリントがあったのが確認しましょう。プリントをもらい、その授業に行ったことを友人に聞いてメモや色を付けましょう。
